総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(4/6)

		<i>W</i> . A				
	評価 区分 (※)	総合 評価 (IとIとII を1:1:2の 割合で計 算)	I 目標に向けた取組 の進捗	II 支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	Ⅲ 取組全体に わたる事業 の進捗と政 策課題の解 決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
和歌山県「高野・熊野」文化・地域振興総合特区(和歌山県)	正	3.9	4.2 進界域光で 110名客人 ・関現なわ育講 世地観延 世地外総数 世す地どせ成者 170 遺に名数の 産お宿延 外 選講オ組次業 発 産業一み世の 産業一み世の 産業 126% 産業のの 産業の 産業の 産業の 産業の 産業の 産業の 産業の 産業の 産業	3.5 規・総通成・業業的 財重建業 地 和遺対金 の活別内業 いけの 財重建業 域取の産策 切お域用 支文物 独組山緊事 がけの 接化区士 よる弾 援化修 自組県急業 等財理等 の 世保補等	4.0	・相次ぐ観光関係イベントや高速交通体系の整備の進展、世界遺産保全活動や学術調査研究、人材育成について、行政と住民によるこれまでの持続的な取組が功を奏して、全体としては順調に進展していると評価できる。 ・「通訳案内士」の質的向上と活躍の場づくり、これらとも関わる「貸切バス事業者による関空発着ツアーバス」の更なる設定・利用促進へ向けた取組・効果が期待される。 ・評価指標については、まだ課題が残っており、「外国人宿泊者数」は、進捗度148%で目標を超過達成しているように見えるが、この間の訪日外国人の伸び率よりも低いのは問題である、ということになる。